

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	利用者と味噌汁作りを行う習慣はついてきた。今回は昼食作りを行っていく。	利用者と一緒に昼食作りを行い、潜在能力を活かす。調理が出来ない利用者も、調理の様子を見ることが食材の香りを感じることで昔を思い出せるようにする。また、多くの利用者が昼食作りに積極的に取り組めるよう支援していく。	利用者に声かけを行い、職員と一緒に食材を刻んだり、炒めたりしながら昼食を作る。調理が出来ない利用者も、味見を勧める・調理の様子を見てもらう・食材の香りや雰囲気を感じてもらうことで、昔行っていたことを思い起こせるようにする。また、多くの利用者が昼食作りに積極的に取り組めるよう支援していく。	3ヶ月
2	43	オムツを使用する利用者が増えてきた。適切なオムツの選択・生活リズムの見直し、さらにオムツ外しに取り組むことでQOLの向上を目指す。	オムツ会社と協力し、適切なオムツを選択するとともに、排泄パターンを見直すことで本人に適した排泄誘導をしていく。またオムツが外せるような方はオムツ外しに取り組む。それに付随して、ADLはもちろん生活リズムを改善する中でQOLを上げていく。	オムツ会社と協力し、排泄パターンから本人に適した排泄を選択する。必要であれば適切なオムツ交換時期を探り、交換時期に合ったパッドを選択する。また、生活習慣を見直し日中に活動を促すことで夜間安眠できるようにする。また、排泄委員にて1ヶ月毎の外部評価を受けることでさらなる改善を目指す。	1ヶ月毎
3	19	利用者だけでなく、家族との関係をさらに深め、信頼関係を築くとともに、家族も含めチームケアの提供を行う。	利用者だけでなく、家族からも意見が言いやすい環境を作る。	日常生活や行事の一コマを写真や動画に収め、家族の面会時に見てもらうことで、施設での生活がどのようなものであるか知ってもらう。また、面会時や電話での近況報告だけでなく、家族へ手紙(年賀状・暑中見舞いなど)を書く・家族会を開く(下半期2月、上半期8月)ことで家族が意見を伝える機会を増やしていく。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。